

## 有限会社桜苑 焼肉桜苑

高温の食品をパックできる真空包装機を導入し、作業を自動化

梱包・シーリング作業の時間と冷却氷等を削減  
作業の属人化を解消し、アイドルタイムの有効活用も実現

### 1 従来の課題

Task

当社は半世紀以上にわたり営業している老舗焼肉店です。コロナ禍をきっかけにテイクアウトを始めましたが、オペレーション面で全てのメニューを網羅するのは難しかったため、テイクアウトに適したスープに注目しました。

もともとスープは創業時から力を注いできた看板商品。テイクアウトのスープは固定客がつくほどの人気商品になり、ストック需要のまとめ買いも多いことがわかりました。

そのため、冷凍自動販売機を導入し店頭でのスープ販売を始めました。スープの梱包、シーリング作業は全て従業員の手作業で行っていました。冷凍自動販売機用として梱包する前に冷却が必要なため、大量の氷、保管場所・冷却時間を要し、かつ冷却後に生じる油脂分の分離による梱包の際の味の不均一化、手作業によるシーリングの失敗、従業員による梱包時間のばらつきが大きな課題となっていました。

また、冷却時間や梱包時間のばらつきにより、営業時間内に梱包作業が終わらず、時間外労働も発生している状況でした。



冷凍自動販売機のチラシを作ってPRに努めています

### 2 取組概要

Approach

本事業では、高温の食品をパックできる機能を持つ「真空包装機 HPS-200B-HP」を導入しました。

最初は吹きこぼれが生じるなど問題もありましたが、メーカー担当者と密に連携を取り合いながら調整を重ね、改善策や対処方法の検討を進めていきました。スープの素材や食材によって袋の大きさを変えるなど、工夫を重ねる中で気づくことも少なくありません。当店の厨房機器は全て同じメーカーの製品のため、フォローしてもらいやすいというメリットもありました。



導入した真空包装機

### 3 実施効果

Effect

真空包装機の導入で、これまで別々に行っていた梱包・シーリング作業を1台で完結できるようになりました。高温の食品をパックできる機械の導入により、それまで冷却に要していた氷・場所・時間が削減される他、スープの味の均一化につながっています。

また、真空機能が加わることで、食材が酸素に触れず細菌が繁殖

### COMPANY PROFILE

- 業種 飲食業
- 事業内容 焼肉店の運営
- 創業 1967年
- 代表者 代表取締役 延田 政弘
- 所在地 神奈川県川崎市川崎区桜本1-1-13
- 従業員数 20名

殖しにくくなり、それまでよりも高い鮮度を維持できるため衛生面での安全性も向上しました。

同時に、真空脱気からシーリングまで自動で完了するため、従業員の梱包作業、時間外労働の削減にもつながりました。作業を機械化したことで従業員の誰もができるようになり、作業の属人化も解消しました。自販機への補充作業も含め手の空いた人員ができる作業が増えたことで、繁忙時間の調整ができるようになったことも大きなメリットです。

#### <真空包装機導入による効果>

梱包・シーリング作業の削減時間数

24時間 → 16時間(月)

時間外労働の削減時間数

8時間 → 0時間(月)

冷却氷代の削減金額

7,200円 → 0円

商品不良率の低減

5% → 2%

### 成功の決め手・秘訣

もともと長期保存用の簡易的な真空パック機は使い慣れており、そのあたりのコツを活かすことができたこと。

### 社員の声

コロナ禍で仕事がなくなる不安がありましたが、販売方法やアイテムのバリエーションがどんどん増えていき、やることも増えたため、安心して働けるようになりました。焦らなくてもよくなったことで、次のことを考える余裕も出てきました。

<https://www.yakiniku-sakuraen.com/>



### 今後の展開

冷凍自動販売機の売上は安定していますが、設置しているだけで特に宣伝をしていないので、来店者、販売数の状況も見ながら、徐々にPRを進めていきたいと思っています。まずは店舗周辺でPRすることで来店者を増やし、その来店者にスープを買ってもらおうという好循環を作っていきたいです。

また、現在リピーターのお客様から商品を送ってほしいとの要望があり個別に対応している状態なので、自社のWebサイトでのネット販売も検討中です。



### ひらめきポイント・経営者の気づき

飲食店にとってコロナ禍で厳しい状況が続きましたが、経費の削減と新たな販売方法の開拓で乗りきることができました。

店舗の客足は戻ってきましたが、未だ読めない状態が続く、原材料費高騰、値上げラッシュの世の中の流れもあるため、少人数で効率的な営業ができるような工夫も必要だと思います。

今回の取組で真空包装機を導入したことで、1日のうちの繁忙時間・アイドルタイムの凸凹を空いた人員で調整できるようになったことは大きな効果です。

今後はネット販売などで、さらなる販路拡大を目指していきたいと考えております。



店長 杉山 有希